

おおすかがわりゅういき しただがわしゅうへん  
**19. 大須賀川流域 (下田川周辺)**



この地域は、成田市<sup>なりた</sup>の東部に位置する下田川の流域を含んでいます。東側は畑地として利用されており、北側から南西部にかけて河川に沿って入り組んだ谷津田<sup>やつだ</sup>が見られます。この谷津田には、キクモやオモダカなどからなる水田雑草群落が見られます。谷津田の周辺は丘陵地で、スギ・ヒノキ植林に混じってコナラ林も見られます。

ここでは、水辺や樹林を好む生き物が多く見られま

す。水辺では、トンボやチョウの仲間が多く見られます。谷津田では、ヨシに止まって鳴いているニホンアマガエルや、水面から顔を出しているトウキョウダルマガエルなどが多く見られます。また、畦<sup>あぜ</sup>ではニホンカナヘビやモグラ塚も多く見られます。水田で餌を採ったり、休息したりするダイサギやアオサギなどのサギの仲間や、セキレイの仲間が見られるほか、畑地では餌を採るセキレイの仲間やムクドリ、樹林地ではシジュウカラやコゲラなどの鳥類が見られます。



水路は一部補強されている



キクモ



- 凡例**
- 自然観察ルート
  - 写真撮影ポイント



ハクセキレイ



水路の周辺は水田が広がっている



ムクドリ

この地図は、国土地理院の電子地図25000『成田空港』、『佐原西部』を使用したものである。

**第3次調査確認種数**

種別	確認種数
植物	410種
ほ乳類	4種
鳥類	21種
両生類・は虫類	6種
昆虫類	276種
底生生物・魚類	6種

第1次調査、第2次調査は、実施していない。



ニホンカナヘビ